

子どもからお年寄りまで参加する

瑞浪市陶町民生委員児童委員協議会

町づくり

少子高齢化が進む町

陶町は、瑞浪市の最南端に位置する山間部の町です。昭和30年代には陶器の生産が盛んで、地方からの就職者も多数あり社員寮が完備された会社も多くありました。

当時は7,000人ほど住んでおり、陶器で支えられた町でした。残念ながら近年は人口の減少に歯止めがかからない状況です。(令和6年4月現在、約2,800人)

又、65歳以上の高齢者が47パーセントを超え、中学校は隣接した町に合併され、小学校も全校生徒が70名以下となり、典型的な少子高齢化が進む町となっていました。

人口が減少している状況の中で、民生・児童委員は忙しく活動しております。

社会福祉懇談会

福祉委員や他団体の代表者との懇談は社会福祉協議会(以下、「社協」)陶支部の総会で毎年5月、12月に実施しています。この懇談では訪問先での



福祉委員と懇談する民生・児童委員=公民館

高齢者の健康状態、悩み事の相談などについて、世間話を含めコミュニケーションを図っています。開催が年に2回程度と多くありませんが屈託のない意見交換により、高齢者の現状だけでなく町内の現状を把握するのに重要な機会となっています。

お年寄りと子どもの夏祭り

このイベントは年1回(毎年8月)ですが、すでに34回を数えます。参加者は社協、園児と保護者、長寿クラブ、民生・児童委員、ゴールド会(ボラティア団体)、公民館など150名程です。

「綿菓子」、「ポップコーン」を提供し、「風船つり」、「けん玉」、「ボール入れゲーム」など子どもとお年寄りが一体となってゲームを楽しむ場となっています。

ひなたぼつこの集いとサロニ二歩

お年寄りとの交流では「ひなたぼつこの集い」を毎年11月に開催し、社協福祉委員、民生・児童委員が集合し「演芸」(コーラス)、「園児のお遊戯」の披露や「ビンゴゲーム」などでコミュニケーションを図っています。



「ひなたぼつこの集い」を楽しむ参加者=公民館

また「サロニ二歩」は毎月第4土曜日に開催しており、モーニングコーヒーを飲みながら世間話に花を咲かせております。健康面のケアとして、看護師さんにもお願いし、「血圧測定」を実施していただき健康面での相談に

対応していただいております。コロナの影響が尾を引いていますが、毎回100名程のお年寄りが参加しています。

ふれあい広場

このイベントも陶町の青少年育成部会が中心となり毎年11月に開催しています。町内の団体と幼児、小学生、中学生、保護者など約300名が参加します。内容は「グランドゴルフ」、「くつ飛ばし」、「折り紙」、「豆つかみ」などお年寄りから幼児まで参加できるゲームなどで楽しみ、町民の交流の場となっています。イベントの最後には、風船にメッセージを付けて飛ばし、拾った方から連絡していただけることが小さな交流の場となっています。このイベントも35回を数えます。

ここに紹介したイベントは事前会議の開催、準備、実施、片付け、反省会に至るまで町内のすべての団体が関わり、幼児からお年寄りが参加できる環境作りに励んでおります。

人口の減少と少子高齢化の問題と向き合いながら、どの活動も30年以上続けられていることが誇りとなっています。イベントを企画する方の年齢も60代から70代が多くなっておりませんが、協力していただいている皆さんの活動意欲に支えられ、次の世代にも引き継いでいただければ幸いです。